



令和7年度 修了式

先日の卒業式では、全校生徒の素晴らしい校歌合唱が式場全体に響き渡り、自信に満ちあふれた表情と感動の涙の中、108名が学び舎を巣立ちました。先輩の晴れ姿に、感謝、感動、憧れを抱いた在校生がたくさんいたと思います。生徒会長の鎌田莉緒さんが送辞で述べたように、卒業生が残してくれた伝統を引き継ぎ、東志を燃やし続け、東中に刻まれる新たな歴史がさらに輝けるものとなるように願っています。

さて、令和7年度をふりかえってみると、生徒会を中心とした様々な企画のおかげで学校生活が充実し、運動会、精華祭、合唱コンクールなどの学校行事では全校生徒で楽しい時間を共有することができたと感じています。今後、学力向上、部活動地域移行、学校行事の実施については様々な工夫や改善が必要となりますが、「本荘東中だからこそできること」という発想を大切にしながら、令和8年度の学校運営を進めていきますので、保護者や地域の皆様からのご指導とご協力を引き続きお願いいたします。

【2年生に期待すること】

① 受検生として、春休み中に2年間の総復習をして苦手分野の克服を図りましょう。また、春休みの宿題が順調に進んだ場合は、「受検対策テキスト」を活用して3年生の予習をすることをお勧めします。復習するチャンスは何度かありますが、予習するタイミングは限られています。予習をすることにより、授業内容の確実な理解につながります。特に、数学と英語の予習をお勧めします。

1年後の自分のために、本気で家庭学習・受検勉強をがんばってください。

② 最上級生として、これまでの先輩のように、生徒会活動や学校行事でアイデアや個性を発揮して全校を盛り上げてください。3年生の意見で決定できる場面もたくさんあるはずです。中学校生活最後の年になりますので、学級、学年、全校で楽しい時間を共有していきましょう。

③ 部活動の地区総体、吹奏楽コンクール中央地区大会までわずか3ヶ月ほどです。一日一日の目標やテーマを明確にして練習を積み重ね、仲間や後輩と協力しながら全県大会出場を目指しましょう。部活動の成果も志望校を決定するための大きな理由となる場合があります。

【1年生に期待すること】

① これまでのテストの結果を見ると、「もっとできるのではないか？」と感ずることがたくさんありました。もしかしたら、小学生の頃より家庭学習の量が減っている人もいるのでしょうか？ 中学生にとって、放課後から就寝までの時間帯に、部活動と家庭学習を両立させることや家庭学習で授業の復習を確実にを行うことが大切なことであり、日々の積み重ねが中学校卒業後の進路選択にも大きく影響します。

春休み中は「5科の総復習」を活用して基礎的な学習内容を確実に覚えましょう。

② まもなく新入生が入学してきます。「さすが中学生…」「あの先輩の意見はすごいなあ…」など、いろいろな場面で中学校生活の模範を示すようお願いいたします。



[2025 校舎と桜]



[3階教室から見える鳥海山]



[3階から見える東小校舎]